

第13回

The 13th Annual Meeting of
the Japanese Society for Epigenetics



日本エピジェネティクス研究会年会

2019年

5月28日 (火) • 29日 (水)

テーマ

エピジェネティクス
発生から創薬へ

会場

神奈川県民ホール
産業貿易センター

横浜市中区山下町

年会長

古関 明彦

理化学研究所
生命医科学研究センター

講演者

使用言語：英語

特別講演

佐々木 裕之 (九州大学)

一般講演 I

Wei Xie (Tsinghua Univ.)

石黒 啓一郎 (熊本大学)

岩間 厚志 (東京大学)

山岸 誠 (東京大学)

スポンサードセッション

Michel Erb (Scripps Res.)

Fei Lan (Fudan Univ.)

一般講演 II

Rob Klose (Oxford Univ.)

後藤 由季子 (東京大学)

岡野 栄之 (慶應義塾大学)

一般講演 III

胡桃坂 仁志 (東京大学)

野澤 竜介 (がん研究所)

次期年会長講演

近藤 豊 (名古屋大学)

このほか、ポスター発表演題から選定したショートトーク、奨励賞受賞講演、企業協賛によるランチョンセミナーを予定しております。

イラスト提供：河本 宏（京都大学）

本大会のテーマである発生と創薬を、葛飾北斎の「赤富士」の中、Waddingtonのエピジェネティックランドスケープを取り入れて描画しました。赤富士頂上にある未分化状態の細胞は、斜面を転がり落ちながら、分化していきます。右下の赤黒い塊は「がん」を示し、研究者が格闘する様子を示しています。左側にあるリフトは、分化細胞を頂上に戻す、つまり初期化をイメージしたものです。

